

平成27年度第2回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開会宣言 平成27年8月17日(月) 午前9時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎2階201会議室
- 3 出席者 雲尾委員長、村田委員、小林委員
- 4 説明のための出席者
長谷川教育長、久住教育部長、笹川教育総務課長、栗林子育て支援課長、
樋山小中一貫教育推進課長、吉川教育センター長、金子生涯学習課長補佐、
大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 教育長あいさつ
 - (3) 議事
ア 平成27年度教育に関する事務の点検及び評価報告書(案)について
 - (4) 閉会
- 7 会議の経過及び結果
 - (3) 議事
 - ・小中一貫教育推進課、教育センター所管分について、吉川教育センター長から説明あり
(雲尾委員長)
今の1-(1)から(3)まで、よろしいでしょうか。
 - ・小中一貫教育推進課所管分について、樋山小中一貫教育推進課長から説明あり
(雲尾委員長)
7ページ、8ページのところからですが、これにつまましていかがでしょうか。
1-(4)の8ページの「今後の方針」のところ、今ほど聞いていて、やはり読んだときも一瞬わかりにくいので。「今後の方針」の下から3行目「併せて、調査対象児童に限らず」というところで、「調査学年の児童生徒に限らず」というふうな変更でいかがでしょうか。調査対象というのは調査学年と、全体を理解していれば分かるわけですけど、やはり一瞬、小5と中2を思い出すのに時間がかかるので、「調査学年の児童生徒に限らず」と書いていただいた方がわかりやすいかと思しますので、お願いします。
(村田委員)
5ページの1-(2)のところを聞いてもよろしいでしょうか。
(雲尾委員長)

一旦、はい、戻りましょう。

(村田委員)

一般の方々をご覧になられたときのために、説明書きが2、3か所入っておりますよね、7ページにあるような。体力テストだというふうな。5ページのところも、標準学力検査や全国学力学習状況調査が出てくるわけですけども。小学校5年と中学校2年を対象になって行われるものなんだとか、何年に1回とか、毎年とか、簡単な説明をしていただいた方がわかりやすいのではないかと思います。

(雲尾委員長)

5ページの1－(2)の「主な事務事業」①に出てくる言葉ですよ。そのところで、主な事務事業の後ですかね。「主な事務事業」と「評価」の間に、NRTと、全国学力学習状況調査についての説明文をということですね。

(村田委員)

はい。続いて言うていいでしょうか。

6ページの「今後の方針」の4行目の文言なんですけれども、「検討・実施するよう各中学校区を指導する」とあります。教育委員会は全ての学校で実施していることを指導する立場にあるわけですので、「各中学校区を指導する」というのは、いらんんじゃないかと思えます。「検討を実施する」でとめてもいいんじゃないかと思えます。

(雲尾委員長)

6ページの「今後の方針」の1段落目の最後ですね。「検討を実施する」で切るということでよろしいですかね。

(吉川教育センター長)

はい。

(村田委員)

どうしても必要と思って入れられたんですから。でも、私はいらんんじゃないかなと思うんですけども、検討していただければと思います。

(雲尾委員長)

1－(2)はそれでいいですか。1－(3)もありますか。

(村田委員)

1－(3)は、ちょっと感覚的なことを言うてすみませんが、6ページの「主な事務事業」の②のところに、「三条市の子どもの科学への興味関心を掘り起こし」これ、もったもなことだと思うんです。その次、「理科の大好きな子どもを育て」とありますよね。学校教育だから、科学的な興味関心というのは、理科という学習、教科の分野を通して育てていくというので、ここで「理科の大好きな子ども」が出てくるのかなと思ったんですけども、すご

く、科学という大きなものに対する子どもの嗜好みたいなのを刺激していこうというときに、何か突然「理科の大好きな子ども」というのが出てきて、何か、ちょっと変な感じというに変ですけども。ここ、「科学の好きな子ども」なんていったらおかしいんでしょうか。あんまり、科学、科学と同じ言葉が続くのもよくはないと思うんですけども。「理科の大好きな子どもを育て」がなくても、「関心を掘り起こし」だけでも十分に意は通ずるように思いました。いかがなものでしょうか。

(雲尾委員長)

1－(3)の「主な事務事業」②ですね。「理科の大好きな子どもを育て、」が不要ではないかということですね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

これは、センター長、いかがでしょう。

(吉川教育センター長)

内容、目的を考慮しますと、ここで特に「理科の大好きな子どもを育て」という必要は確かにはないかもしれないと思いますので、御指摘のように「三条市の子どもの科学への興味関心を掘り起こし」、郷土愛ということがありますので「将来の三条市の地場産業活性化に貢献する子どもを育む」ということにさせていただければと思います。

(雲尾委員長)

わかりました。では、そのような形で変更するというところでお願いします。

(村田委員)

1－(4)の8ページの「今後の方針」のところなんですけれども。課題があるというのは評価のところでもあり、それを受けての対策が出てきているので、よくわかるなと思いましたが、その下の、これも表現の分野ですけども、「弱点分野の運動を取り入れる」と、弱点分野を強化する運動を取り入れるんだろうと思いますので、弱点分野強化の運動を取り入れるというふうなことにしたらもっとわかりやすいかなとか思いました。

(雲尾委員長)

1－(4)の一番最後ですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

今の御指摘のとおり、「弱点分野を強化する運動を取り入れる等工夫した活動を推進する。」とさせていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

「の」を取って、「弱点分野を強化する」ですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

そのように、挿入させていただこうと思います。よろしく申し上げます。

(雲尾委員長)

では、1－(4)はよろしいですかね。

(村田委員)

1－(5)の「内容」の3行目に「家庭・関係機関」というのがありますよね。そして、その下の「また」の段落の下から4行目に「支援機関」というのがありますよね。これは、違うものなんですか。何か意図があって書きかえているものでしょうか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

明確な意図はございません。支援する関係機関という意味合いで、2つの言葉が同じ場所に出ておりますので、統一させていただこうと思います。「関係機関」が一般的に使っている言葉です。

(雲尾委員長)

そうすると、8ページの下から4行目の「支援機関」を「関係機関」に変えるということですか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。いかがでしょうか。その後にも「支援を行う」と書いてありますので。

(村田委員)

続いて1－(5)の「評価」の9ページですけれども。5行目に「指標は現在のねらいにはあわなくなっている」と、前回も、そのとおりでなと思ったんですけれども、指標というのが、どこにもここにはないわけですよね。でも、指標に基づいて評価しているというのわかります。でも、この言い方が、突然に指標が出てきて、指標って、じゃ、何なんだと思いますので、表現をちょっと変えられたらいいんじゃないかなと思うんですけど、じゃあ、どういう表現かという代案はないんですけれども。

(樋山小中一貫教育推進課長)

普通に考えると、「いじめの認知件数を少なくしていくという指標は現状のねらいにあわなくなっている」と書くといかがでしょうか。

(村田委員)

この「C」のために必要なんですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。それで、成果指標では、「認知件数の増減で成果を評価することが難しい状況となっている」と書いてあるので、多分、わかりやすかったんですが、それがなくなってしまうので、その説明を少し加えたらいいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

調査報告書では、「平成 24 年度大津市のいじめ自殺事件を機に、いじめを積極的に認知することが重要であるとの認識が広がったことと、平成 25 年度「いじめ防止対策推進法」の成立により、いじめを訴える児童生徒がいれば「いじめ」として認知し対応することとなり、認知件数の増減で成果を評価することが難しい状態となっている」、この部分ですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。その文章を活用させていただいて、だから、この指標はねらいに合わなくなっているとしたいと思います。いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

「大きな成果である」で一旦切っていただいて。その後、これ、平成 23 年度に作成されたいじめ認知数を、平成 26 年度には 0 件にするという指標はということですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(村田委員)

それで結構と思いますが。

(雲尾委員長)

そういった趣旨で書き直していただくということで、よろしくお願いします。

(樋山小中一貫教育推進課長)

わかりました。

(雲尾委員長)

1 - (5) についてはよろしいでしょうか。1 - (6) お願いします。

(村田委員)

1 - (6) に「インクルーシブ教育」と「インクルーシブ教育システムの構築」というのが出ておりますが、これも、こういう特別支援教育を学んだ人にとっては当たり前の言葉と思いますけれども、説明があった方がいいと思います。

(雲尾委員長)

これはどうですかね、インクルーシブ教育と、システムと、両方別々に説明するよりは、1 か所まとめてでいいですかね。

(村田委員)

はい。

(雲尾委員長)

じゃあ、インクルーシブ教育と、インクルーシブ教育システムと、合わせて説明するような形で、この 1 - (6) の最後に付け加えてください。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(雲尾委員長)

1－(6)は、そのほか、よろしいでしょうか。では、2－(4)となりますので、15ページですかね。ここについてはいかがでしょうか。2－(4)はいいということで、2－(5)、お願いいたします。

(村田委員)

「評価」のところなんですけれども、この1行目の一番末の「その結果」というところからずっとこの3行が1文なんですよね。それで、結構難しいことがそこに、というか、見直しというものが入って、これが、とても大事なものが入ってきてるんです。それで、私、3行目のところで「運営がなされてきている」で一旦切って、「しかし」とつなげるか、課題が残っているんだというふうにつなげた方が、文章表記上、センテンスが短くなった方がわかりやすいなと思いますが、いかがでしょうか。

そして、ここで「見直し」といって、そして「今後の方針」にくると、今度「とらえ直し」という言葉が出てきていますが、ほぼ同じというふうに考えていいんですよ。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。やはり、統一した方がよろしいでしょうか。

(村田委員)

いえ、近くに同じ言葉がまた続くのもすごくよくないと思いますので、同じ意味であるならば、それはそれで良いと思います。

(雲尾委員長)

「運営がなされてきている。しかし」ですね。

(村田委員)

はい。2文にしたらどうかということなんですけれど。

(雲尾委員長)

それはそれでよろしいですかね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい、わかりました。

(雲尾委員長)

次の点は「見直し」と「とらえ直し」。

(村田委員)

ええ。それが同じという、今、わかりましたので、このままで結構だと思います。

(雲尾委員長)

そのままでもいい、わかりました。では、次の点で。

(村田委員)

はい。「今後の方針」のところで、「学校評議委員会の趣旨を義務教育9年間の学びを支える視点でとらえ直し」というのと、学校評議委員会等という中に含まれる小中一貫教育推進協議会の見直しが「評価」のところの上になっているわけですので、ここの「今後の方針」は、2行目の「各中学校区「小中一貫教育推進協議会」と」から始めまして、そして一番下の行の「設立を目指し」と、これ、句点が打ってありますけど、この間に「地域住民が小中9年間の学校運営に参画できるよう努め」という、この、また大事な文言が、これ、削られないとこだと思いますので、そこに入れちゃって、ちょっとまた文が長くなりますけれども、そうするとだぶりとかがなくて、明快になる。すみません、国語みたいなこと言ってますが。

(雲尾委員長)

一文目を、二文目の途中に入れるという趣旨ですかね。

(村田委員)

はい。地域住民が、から。

(久住教育部長)

そこまでは消すんですね、「とらえ直し」までは消して。

(村田委員)

「とらえ直し」までとって、「地域住民が」というところを一番下の「目指し」の次に入れたらいいんじゃないかと思いました。

(雲尾委員長)

通して読み上げていただけますか。

(樋山小中一貫教育推進課長)

通して読ませていただきます。「各中学校区「小中一貫教育推進協議会」と、各学校の学校評議委員との関係を見直し、両組織を融合した「各中学校区学校運営協議会」の設立を目指し、地域住民が小中9年間の学校運営に参画できるよう努め、より一層、地域に開かれた特色のある学校づくりを進める。」とさせていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

村田委員、よろしいですか。

(村田委員)

はい。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「各中学校区学校運営協議会」の注釈は必要でしょうか。

(村田委員)

これ、もう大分前から、小中一貫教育のことで市民へのアピールをすごくされてきておられますので、特別に注釈はいらないんじゃないかと思いますが。

(雲尾委員長)

そうすると、今の部分でいうと、「学校評議員会の趣旨を義務教育9年間の学びを支える視点でとらえ直し」と「そのため」を削られるということでもいいですね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

はい。

(雲尾委員長)

そうすると、また一つ解決するような気もするんですけど。このページ、「内容」のところは「学校評議員委員会等の活性化を図り」で、「評価」のところは「学校評議員会議」になっていて、「今後の方針」で「学校評議員委員会」になっていて、あと、学校評議員があるということで、どれをどう統一しようかと考えていたんですけど。今、最後の「今後の方針」のところでは消えたので、各学校の学校評議員もあるので、そうすると、「評価」のBの会議の議ですかね。会でいいでしょうかね、こっちが。「内容」に「議」を入れるよりは、「評価」の「議」をとった方がいいですかね。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「評価」の「議」をとらせていただいてよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

はい。「評価」の一行目、「学校評議員会議等」を「学校評議員会等」にさせていただいてということで。

じゃあ、2-(5)、ほかによろしいですかね。

- ・子育て支援課所管分について、栗林子育て支援課長から説明あり

(雲尾委員長)

では、12ページ2-(1)の差し替えの方ですね。この差し替えの方で御検討いただければよいと思いますが、いかがでしょうか。

(村田委員)

「評価」のところなんですけれども、長い文が2文になって良かったと思いましたが、下から3行目の「参加児童は、教室のルールに従いながら」とありますよね。そうすると、主語は参加児童かなと思ひまして読んでいくと、「子どもの社会性育成に寄与している」。「社会性育成に寄与している」のは参加児童じゃなくって、その、子ども教室そのものの機能みたいのだと思うんです。だから、参加児童はその「社会性を伸ばしている」とか、「伸張している」とか、何か主述を整えた方がよいと思います。

もう一つ言っていていいでしょうか。「評価」のところで、3行目に「嵐南小学校」というのが出てきますが、わかるんですけども、ずっと学区のことを言ってきましたので、「嵐南小学校区」と入れた方が、区が入った方がいいんじゃないかと思いました。

(雲尾委員長)

「学校区が広い下田地区、栄地区や3校統合を行った嵐南小学校区などでは」ですね。

(村田委員)

でも、「3校統合を行った」だから「嵐南小学校」でいいんでしょうかね。

(栗林子育て支援課長)

今のところは、下田地域と栄地域、それから大きく三条地域ということの中で、下田全体の地区とか、栄全体の地区ということと、ここはあくまでも嵐南小学校一つのことを言っておりますので、ちょっと区という言葉はなじまないかと思います。

(雲尾委員長)

では、そこはよろしいですね。

(村田委員)

はい、取り下げます。

(雲尾委員長)

「評価」の文章の一番最後「子どもの社会性育成に寄与している。」の文についてですね。前は「努め、」となっていたので、「子どもの社会性育成に寄与している。」は、一番最初の、なお、現在実施している各教室についてはのところがかかっていたんですね。「なお、現在実施している各教室については、子どもの社会育成に寄与している。」、その間に長々と説明が入っていたと。それで、「努めた。」になったので切れてしまって、別の文になったので、そうするとまた新たに、「各教室においては子どもの社会性育成に寄与している。」というのが入ることにはなるんですけど。

(村田委員)

でも、それ、子どもの社会性ということを、上の「各教室については」の文にもってきてもいいですよ。

(栗林子育て支援課長)

そうしましたら「参加児童は、」のところで点を入れまして、主語が明確に分かるようにした後、「教室のルールに従いながら」とずっときまして、「スタッフとの交流を行い、社会性が育まれている。」とひっくり返した言い方をしてはいかがでしょうか。

「参加児童は」という主語になりますので、このところ「子どもの」を取りまして、「社会性が育まれている。」でいかがでしょうか。

(雲尾委員長)

2－（１）、そのほかよろしいですか。

では2－（２）でございます。「家庭教育講座」につきまして、いかがでしょうか。

（村田委員）

こここのところの「触れ合い」というのは全部漢字が使ってあるんですけど、11 ページではひらがなを使ってあったりしますので、どちらかに統一された方がいいんじゃないかと思えます。

もう一つは、こちらにとっては当たり前の言葉の BP 講座、NP 講座。これ、略さないで書いていただけるとわかると思うんですけど、どういう講座なんだろうかと思う人が多分いると思いますので、説明があった方がいいんじゃないかと思いました。

（雲尾委員長）

「触れ合い」は何か所ありますか。 「内容」のところだけですか。

（村田委員）

そうですね。ここではそこだけです。

（雲尾委員長）

2－（２）、内容の「家族の触れ合い」ですね、これ、ひらがなにすべきではないかということと、「主な事務事業①」のところ、「BP 講座、NP 講座」と出てくるということについて。

（栗林子育て支援課長）

「評価」の中にも BP、NP という言葉を使っておりますので、ここ、ちょっと講座という言葉が落ちておりましたが。

（雲尾委員長）

これも「指導者養成講座のうち」と書いてあるので、落ちているのは構わないと思うんですけども。村田委員としては、説明というよりは、正式名称で書いて欲しいということですよ。

（村田委員）

はい。正式名称で書いたらわかるかなと思います。

（久住教育部長）

ここは説明があった方がいいかと思えます。

（雲尾委員長）

じゃあ、「主な事務事業」の下に用語説明で、BP 講座、NP 講座を入れていただくということとでいいですか。2－（２）、よろしいですか。

・生涯学習課所管分について、金子生涯学習課長補佐から説明あり

（雲尾委員長）

まず2-(3)、14ページでございます。これにつきまして、いかがでしょうか。

(小林委員)

このしかけ絵本日本一プロジェクトの後に冊数があるというところで、ちょっと不勉強で申し訳ないんですが、これは全国の図書館の中のしかけ絵本の蔵書数というのがわかっていて、日本一が何冊だっている目標があって、それをクリアしたのかしないのかというところが。結局、日本一になったのか、なっていないのかというところというのは、入れた方がいいものでしょうか。

(金子生涯学習課長補佐)

この日本一プロジェクトでございますが、図書館の本の分類でしかけ絵本という分類は無く、何冊あるかというのは把握しておりません。今回、目標の中では1,000冊を揃えれば日本一といえるだろうというところで始めさせていただいたものでございますので、何冊集めたから日本一になったというところについては記述が難しい状況ですので、よろしくお願いします。

(雲尾委員長)

目標は1,000冊ということですね。

(金子生涯学習課長補佐)

そうです。去年の目標が1,000冊ということで、それをクリアさせていただいたということでございます。

(雲尾委員長)

冊数と、質の問題もありますのでね、そこはいろいろな言い方ができるかと思うんですけどね。そこはよろしいですかね。

(小林委員)

はい。

(村田委員)

1,000冊を目指してやられたんだったら、下の説明のところに、26年度は1,000冊を目指してやってきたということを入れたらいいんじゃないですか。そしたら1,054冊だから。

(雲尾委員長)

26年度1,000冊。もともといつ始めて、その時に1,000冊、どういう形で考えていたのですか。

(金子生涯学習課長補佐)

最初に始めた時に、1年間で1,000冊は揃わず、何年間かかるだろうということで始めさせていただきました。それが1年でクリアできたということになります。

(久住教育部長)

説明書きなどに1,000冊を目指し立ち上げた、ということを書いてあげればいいのかということですね。

(雲尾委員長)

スタートはいつですか。

(久住教育部長)

昨年度立ち上げた事業で、しかけ絵本を1,000冊揃えることを目指しました。

(雲尾委員長)

もともと250冊ぐらいあって、スタートさせて、800冊購入したということですね。

(金子生涯学習課長補佐)

1年間で800冊揃えました。この説明のところに、「しかけ絵本日本一プロジェクトは、すまいるランドに隣接した図書館栄分館でしかけ絵本1,000冊を集めることにより」ということで、ここに冊数を入れさせていただいたらと思いますが。

(雲尾委員長)

「しかけ絵本1,000冊を集めることにより」ですね。はい。

(小林委員)

確か、クラウドファンディングとか、民間の寄附を受けて取り組まれた活動かと記憶しております。14ページの下から4行目でしょうかね、「また、しかけ絵本日本一プロジェクト(※)では」の後ろに、何かその官民共同でというふうな趣旨のことを入れられたらいいかなというふうに思いました。

(金子生涯学習課長補佐)

しかけ絵本実行委員会は様々な方々が集まって組織させていただいております。その方を中心に活動されているので、官民というよりも、民間を中心にとということになります。私も一緒に活動しております。民間の方が、主体的に運営しております。

(久住教育部長)

それも説明書きに入れてあげればいいのかと。「実行委員会を立ち上げ」のところを、説明書きに入れてくださいってことですね。

(小林委員)

はい。

(久住教育部長)

何の実行委員会なのかを、ちょっと説明書きに入れればいいのかということですね。

(金子生涯学習課長補佐)

説明の2行目のところに、「実行委員会を立ち上げ」というところがありますけども、「子育てに特化した図書館とするため、クラウドファンディングなどの事業を活用した実行委員

会を立ち上げ」というふうにしてよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

「実行委員会を立ち上げ」の部分にあまり加わると文章が長くなるので、「子育てに特化した図書館とするため」の後の「実行委員会を立ち上げ」を取って、「様々なイベントを実施し、情報発信を行うことで親子読書の推進を図るものである。実施主体は」というような形で、後に回していただけますかね。

(金子生涯学習課長補佐)

はい。

(雲尾委員長)

1文で4行くらいになっちゃうので、そのままいくと。

(金子生涯学習課長補佐)

では、「実行委員会を立ち上げ」を取って、文章をつなげさせていただいて、「実行委員会については、クラウドファンディング等を活用して事業の推進を図っている」とか、そういったような記述でしょうか。

(雲尾委員長)

いや、実施主体として、その実行委員会を組織したような。ですから、実行委員会はどいういった人たちで組織して、やっていったかというような説明を入れていただくといいんですけども。単に実行委員会って言われると、図書館内の司書さんたちがやってる実行委員会という見方もできるので。

(雲尾委員長)

こういった人たちからなる実行委員会を立ち上げ、実行委員会がクラウドファンディング等を行って、このしかけ絵本を購入する資金を獲得したとか、そういったようなことを書いていただきたいということですよ。

(小林委員)

はい。

(金子生涯学習課長補佐)

わかりました。実行委員会の説明を別に、下の方につけるというところで。

(雲尾委員長)

あとはよろしいですかね。2-(3)の、その「評価」のところに、最後加わったところなんですけども、「必要性を感じる」というのは、どうも。「必要性がある」ぐらいでいいでしょうか。

(金子生涯学習課長補佐)

「評価」でありますので、「ある」にさせていただきたいと思います。

(雲尾委員長)

2－(3)、じゃあ、あと、よろしいですかね。

では、3－(1)でございます。18ページ、いかがでしょうか。よろしいですか。

3－(2)、「現代的課題などの学習」です。

(村田委員)

「評価」の一番末ですけども、「参加者を得た」でいいと思います。「得られた」になっています。

(雲尾委員長)

多くの参加者を得られた。

(金子生涯学習課長補佐)

そういうふうに修正させていただきます。

(雲尾委員長)

そのほか、よろしいですか。では3－(3)、20ページはいかがでしょう。

(村田委員)

「評価」のところの2段落目に「ITリーダー養成講座等に応募した方に」ってすごく丁寧な言い方なんですけど、これ、「養成講座の応募者に」って。

(雲尾委員長)

ITリーダー養成講座等の応募者に。

(金子生涯学習課長補佐)

そのように修正させていただきます。

(雲尾委員長)

「内容」の2行目の「習得した」なんですけど、これはどっちがいいかな。修めるの「修得」ではなくこちら。どうでしょうか。

(金子生涯学習課長補佐)

資格を取るということではなくて、習うということでございますので、学習の習にさせていただきます。

(雲尾委員長)

わかりました。「主な事務事業」の①市民総合大学のところですね、「企画・運営することを通じて循環型の」。「通じて」の後に「、」を入れていただきたいなど。

(金子生涯学習課長補佐)

はい、わかりました。

(雲尾委員長)

「通じて、循環型の生涯学習型社会の実現を目指す」ということで。3－(3)、よろし

いですか。

では、4－（1）でございます。22 ページ、いかがでしょうか。

（村田委員）

「今後の方針」の一番下の段落なんですけど、「活用事業などを新たに実施し、三条市の魅力ある文化遺産を新たに価値づけし」そのとおりだと思うんですけど、どちらかの「新たに」を取っても、大して問題ないように思いますので、1つにしたらどうでしょうか。

（金子生涯学習課長補佐）

後の「新たに」を削らせていただきます。

（雲尾委員長）

「三条市の魅力ある文化遺産を価値づけし」ですね。4－（1）、あと、よろしいですか。では、4－（2）「埋蔵文化財の調査・保護」についてでございますが、ここはよろしいですか。

4－（3）「文化遺産の公開・活用」について、いかがでしょうか。

（村田委員）

お願いします。24 ページの「今後の方針」の最初の2行なんですけれども。「下田郷の歴史遺産再発見事業では、地元住民に向けて」、そして、下の「地縁型コミュニティの維持存続に向けた取組を行う」とありますよね。ここの意味がちょっと、どういうことを言ってるのかなと思うんですけど。ちょっと説明いただけるとありがたいと思います。

（金子生涯学習課長補佐）

下田郷の歴史遺産再発見事業ということで、今、下田のいしぶみ調査というのをやっております。今後、いしぶみ調査の結果を新たな歴史的価値ということで位置づけた中で、地域の方々にそういうものがあるんだということを知っていただいて、それを地域の中で広め、共有していただき、自分たちの大切な財産だという気持ちを持ち大切にしていくための行動を起こすことによって、地域コミュニティの維持存続につなげていければと思っています。

（村田委員）

すごく大きな目的みたいな。コミュニティの存続の、コミュニティをどうするかというような大きな問題がここでまた出てくるなというような感じがするんですが。この場は文化財の公開と活用、まあ、確かにそれが地域の住民の誇りであり、それが、ひいては地域として、コミュニティとしての存続というかに結びついていくんだとは思んですけど。ここですごく大きく出てると思うんですね。この公開と活用、もう少しトーンを落としてもいいんじゃないかなとか、ここの本来の目的とか。でも、保護意識の涵養ですよ、目的はね。地域コミュニティの存続と、ちょっと方向がとか、それは一部であるかとは思いますが。どう書いたらいいかちょっとわかんないんですけども。

(雲尾委員長)

これ、わかりにくいのは、サンドイッチになっちゃって、これ、本来は「下田郷の歴史遺産再発見事業では新たに価値付けされた歴史遺産を活用し、地元住民に向けて地縁型コミュニティの維持存続に向けた取組を行う。」ということですよ、本来は。「地元住民に向けて」を先に出しているんで、強調したいのかもしれませんが、わかりにくくなるので。これは多分、くっつけた方がいいと思うんですよ。その上で、その歴史遺産再発見事業はそれだけを行うのか、それも行うのかということですよ。だから、下田郷の歴史遺産再発見事業というのは、コミュニティの維持存続が主目的の事業と解釈してよろしいんですかね。

(金子生涯学習課長補佐)

それも目的になっておりますけれども、そもそも三条市の文化的な遺産の活用ということがございます。それを活用する中で、市民への周知を行って行くことで、コミュニティへとつながることもあると思います。コミュニティをどうするかという大きなことにつながるということです。「下田郷の歴史遺産再発見事業では新たに価値付けされた歴史遺産の活用を図ってまいる」として、コミュニティ自体をとってしまった方がいいのかもしれないなと思いますけど、いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

あるいは、ですから、「下田郷の歴史遺産再発見事業では新たに価値付けされた歴史遺産の活用を図る。あわせて、地元住民に向けて、地縁型コミュニティの維持存続に向けた取組を行う。」というふうにして、副次的なものにするということであれば、それでもいいかと思うんですけど、どうでしょうか。

(金子生涯学習課長補佐)

分かりました。ではそのように、「活用を図る。」と、「あわせて、地域住民に向けて」ということとさせていただきますと思います。

(雲尾委員長)

4－(3)、よろしいですか。ありがとうございました。

(樋山小中一貫教育推進課長)

すみません、もう一つだけ確認させていただきたい点がございます。9ページ目の説明。

(雲尾委員長)

1－(5)。はい。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「いじめ・不登校対策の充実」、「評価」について指標のところですよ。なるべく端的に、その指標がわかるように、ちょっと文案を考えてみたので御指導いただければと思います。一段落目の最後「問題の解消を図っていることが大きな成果である。」という御指摘でした

が「大きな成果につながっているので、いじめの認知件数をなくすという指標は現状のねらいとはあわなくなっている」という案でございますが、いかがでしょうか。問題の解消を図っていることが大きな成果につながっているので、いじめの認知件数をなくすという指標は現状のねらいにはあわなくなっている。

(雲尾委員長)

なくすというのはわかりにくいので、「いじめの認知件数をゼロにする」と、それ、鉤括弧でくくってもらえますかね。鉤括弧で「いじめの認知件数をゼロにする」。

(樋山小中一貫教育推進課長)

「いじめの認知件数を0にする」という指標は、現状のねらいにはあわなくなっている、でいかがでしょうか。

(雲尾委員長)

という改変でよろしいでしょうか。

(村田委員)

はい。いいと思います。

(樋山小中一貫教育推進課長)

ありがとうございました。

(雲尾委員長)

ということで、全体、再度よろしいですかね。

(村田委員)

全然違うところ言っているのでしょうか。17ページの、これはもう「生涯学習の充実」の全体についていっているところなんですけども、読んでいったら、「施策の基本的方針」のところの下から3行目ですけども、「生涯学習の推進は…支援します。」って変じゃないかと思うんです。「生涯学習の推進は…支援するところにある、あります。」とか。「推進を支援します」というのは、何かちょっと変だなと。

(雲尾委員長)

そうですね。「生涯にわたって自らが学び」この「が」のいないかと。

(村田委員)

一番簡単なのは、「支援することです。」とかにすれば。

(雲尾委員長)

「生涯学習の推進は」。「すなわち」は、まずいませんよね。「すなわち」は取って、「市民が生涯にわたって自らが学び」の「が」も取る。「生涯学習の推進は、市民が生涯にわたって自ら学び」、「また」も取りますか。「趣味やサークル活動を通じて人と関わり、地域社会の一員として生きがいや喜びを見出せるよう支援することです。」ですかね。よろ

しいですかね。

(村田委員)

はい。また、違うこと言っていていいでしょうか。

(雲尾委員長)

はい。

(村田委員)

後ろの25ページからは、教育委員会の主な活動が記載されていますが、これ、行われた会議を全部書いていらっしゃるのでしょうか。そうであるならば、数字が飛んでいるところは何かなと思ったんです。26ページに、第1回の定例会が1月に開かれていて、第2回の定例会が2月に開かれていますよね。そして、第4回の定例会が3月に開かれて。その第3回の定例会はどうなったのかなと思ったんです。

(雲尾委員長)

26、27ページのところですかね。26ページに、第1回定例会1月27日、第2回定例会2月18日で、第3回が臨時会。定例会も臨時会も合わせて数字を通すということですかね。

(笹川教育総務課長)

定例会と臨時会は連番になります。それとは別に協議会が別にありまして、それはそれでまた番号順になっています。村田委員の御指摘のところについては、2月25日が第3回臨時会で、その次の定例会が第4回という形で記載しております。よろしくお願いいたします。

(村田委員)

はい。すみません。

(久住教育部長)

年を入れますか。平成27年から、今度1月になると27年になるので、それがわかんない。

(村田委員)

いや、そうじゃありません。それはわかりました。26年度が第5回の定例会から始まると、それはわかりました。

(雲尾委員長)

年度というか、番号は年でふるということですかね、年度ではなく。

(村田委員)

それは、私は理解しております。定例会と臨時会が同じだというのがわからなかったのです。

(雲尾委員長)

教育委員会の会議と、協議会は別にふるけれども、会議自体は、定例会も臨時会も通し番号になるという主旨ですよ。

(金子生涯学習課長補佐)

よろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

はい、お願いします。

(金子生涯学習課長補佐)

14 ページのしかけ絵本のところの説明ですが、実行委員会の説明を最後に加え、「実行委員会はクラウドファンディング等を活用し、しかけ絵本の整備を行うとともに」、その後ですが、実行委員会の活動は、親子読書の推進も行っております。それを入れる必要もあるかと思えます。子どもたちから本を読んでもらう、そういうものを普及させる活動を記述することもあると思えます。ちょっとそこだけ別にすると、本の整備のための組織になっています。

(久住教育部長)

どういう人からなっている実行委員会かということで。実施主体はどういう人かでなく、要は民間の人なんだとか、どういう人からなる実行委員会で組織しとか、そして、クラウドファンディングを活用し、実施しているんだということを書くってことですよ。

(金子生涯学習課長補佐)

実行委員会は、しかけ絵本をきっかけに読書の推進を図る組織として立ち上がりました。

(久住教育部長)

各種団体や市民からなる実行委員会とかでいいのではないかと。

(金子生涯学習課長補佐)

「各種団体、市民からなる実行委員会を立ち上げ、クラウドファンディング等を活用し、しかけ絵本の整備を行う。」ことになりますか。

(雲尾委員長)

親子読書活動に取り組む団体や、市民等からなる実行委員会ということ。

(金子生涯学習課長補佐)

各種団体というよりも、親子読書を行っている方々が、「実行委員会は、親子読書推進からの団体や、市民からで構成し、クラウドファンディング等を活用し、しかけ絵本などを整備していく。」でしょうか。

(雲尾委員長)

ちょっと詳しくなると、実行委員は、そもそもどのようにして組織されたんですか。公募とか、どういう形。

(金子生涯学習課長補佐)

親子読書の推進と読み聞かせをされている方々に声をかけさせていただき、しかけ絵本を整備することで子どもたちに本にふれる機会を提供するとともに、読書の推進を図っていこ

うということで、組織させていただいたものでございます。

(雲尾委員長)

じゃあ、「親子読書活動を進める市民や、公募等により組織された実行委員会は」ということですかね。

(金子生涯学習課長補佐)

そうですね。「親子読書活動の推進を進める団体や、市民の方々」でしょうか。

(村田委員)

ここ、あんまり言葉を費やさなくても、先に言われたように、「実施主体は、何々から組織された実行委員会である」と、それだけで。

(雲尾委員長)

実行委員会であり、クラウドファンディングによりしかけ絵本の資金等を。小林委員は、その、クラウドファンディングで資金を得たっていうことを入れて欲しいってことではなかったですか。

(小林委員)

すみません、私の説明が不足しております。この800冊を購入する財源が公金なのか、寄附によるものなのかというふうなところがわかったほうがいいかなという。

(金子生涯学習課長補佐)

800冊集めさせていただいたものについては、寄附、クラウドファンディングもそうですし、そのまま寄附いただいたものもでございます。しかけ絵本自体をいただいたものも含め、800冊以上が集まっているということでございます。

(小林委員)

ということであれば、クラウドファンディングという言葉自体はなくても、私はこの「様々なイベントを実施し」の中に含まれていると思うので、そちらはいいかと思います。

(雲尾委員長)

クラウドではなく、実際に来た寄附も入っているということですね。あと、現物寄附もあるということで、3種類ですかね。様々な寄附形体があるということで、クラウドファンディングもやっていますよということを宣伝したいかどうかによるってということですね、そうしますと。

(小林委員)

例えばですけれども、その14ページの下から4行目ですけれども、「また、しかけ絵本日本一プロジェクトでは、寄附などにより」など、そういう。

(雲尾委員長)

14ページの、「今後の方針」の文章のところですよ。最後の段落の「また、しかけ絵本

日本一プロジェクトでは、図書館栄分館で」

(金子生涯学習課長補佐)

では、「また、しかけ絵本日本一プロジェクトでは、図書館栄分館で、寄附などにより、平成26年度約800冊のしかけ絵本を入れ」に変えさせていただきます。

(雲尾委員長)

「寄贈・寄附金などにより」の方がいいですかね。「寄贈・寄附金などにより」の方が主旨としてわかりませんか。市の予算で1冊も買ってないわけではないですよ。

(金子生涯学習課長補佐)

もともとあったものについては市のものですが、今回800冊については寄附金、寄贈によるものです。

(雲尾委員長)

そうですか。市では買ってない。

(金子生涯学習課長補佐)

買っておりません。

(雲尾委員長)

じゃあ、「寄贈・寄附金により」ですかね。「など」はいらないのかな。「など」はないということですね。じゃあ、「寄贈・寄附金により」ですかね。そうすると、実行委員会の話はあまりしなくていいってことですよ。

(小林委員)

そうですね、はい。

(雲尾委員長)

クラウドファンディングがあったので、さっき実行委員会が長々となりましたけど、それはいらないということかというと、もとの「実行委員会を立ち上げ」だけでいいですかね。

(小林委員)

はい。下の、普通の文章でよろしいかと思います。

(雲尾委員長)

下のもともとの文章に「1,000冊」を入れるだけでいいですかね。

(金子生涯学習課長補佐)

それでよろしいでしょうか。

(雲尾委員長)

はい。すっきりして良かったと思います。そのほかの部分で気になるところはございませんでしょうか。よろしいですかね。ありがとうございました。それでは、質疑が終わりましたので、事務局に進行をお返しいたします。

(久住教育部長)

委員の皆様、細かい点まで御指摘、御意見をいただきまして、大変ありがとうございました。今後のスケジュールについて教育総務課長から説明をいたします。

(笹川教育総務課長)

本日いただきました御意見を踏まえ、報告書の修正版を明日メールにて各委員の皆様方に送信をさせていただきますので、最終確認をお願い申し上げます。再修正等がありましたら、恐れ入ります、8月21日金曜日の正午までにメールにて御連絡をいただきますようお願い申し上げます。再修正の連絡がなければ御了解いただいたということで、8月25日に開催いたします教育委員会定例会にお諮りをし、その後、市議会への報告の後、一般に公開することになりますので、よろしくお願い申し上げます。

(久住教育部長)

それでは、これで第2回教育事務点検評価委員会を閉会とさせていただきます。大変ありがとうございました。

(4) 閉会宣言 午前11時05分